



世界遺産にちなんだ給食!



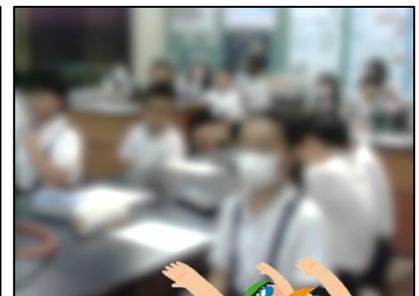
7月8日は（月）は、荒尾市及び大牟田市とのコラボで、三角西港世界遺産登録記念給食」が実施されました。メニューは、「ミルクパン、トマトとなすのミートスパゲッティ、キャベツのマスタードサラダ、石炭ナッツビー」です。「石炭ナッツビー」は、三角西港から外国へ運び出されていた石炭をイメージして作られたもの。カシューナッツや大豆、ココア、大豆が使われています。市で紹介動画が制作され、子供たちは、三角西港の歴史を学んだ上で記念給食を味わいました。私も動画を視聴したのですが、三池炭鉱で採掘された石炭がまず西港まで運ばれ、それから更に外国へ運ばれていたとのこと。また、756mもある長い港だったとの説明がありました。今年は、西港が世界遺産に登録されて9回目の記念日。歴史的な背景を知って味わうと、記念給食がより一層おいしく感じられました。



前途洋々

「くまもと環境出前講座」で学びました

先方の都合で延期になっていた「くまもと環境出前講座」ですが、7月8日（月）の5・6時間目にやっと実施することができました。この講座は、熊本県環境生活部による事業です。講師は、環境計画推進班の西さん。今回講座を受けたのは、4・5年生の子供たちです。5年生は、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の事後学習に取り組んでいますし、4年生も次年度へ向けて環境について学びを深めておきたいところです。テーマは、「有明海・八代海の再生及び水環境保全」で、理科室で、実験を交えながらお話されました。西さんのお話はとてもわかりやすく、実験の他、様々なクイズも取り入れてお話されました。また、有明海・八代海・天草灘や、県内の河川についてなどの知識も得ることができました。地球上の水で、私たちが生活に使うことができるのは、地球全体の水をコップ100杯とすると、ほんの1杯。どれだけ貴重で大切にしなければならぬかがわかります。また、改めて有明海や八代海の希少さもわかりました。（写真左：今回講師をお願いした西さん、右：お話を聞き入る子供たち。今後の学習や生活に、いろいろ生かしていけそうですね）



水泳教室で頑張っています!



7月12日（金）は校内水泳発表会。あっという間に水泳の授業もおしまいに近づきつつあります。それに向けて、時間を別にとって、頑張っている子供たちがいます。水泳は命に関わる授業ですので、少しでも泳力を高めたり水に親しんだりしほうがいよいよは明白ですが、水が苦手な子供たちもちろんいます。

私も実はそうでした。周りの友達が難なく、気持ちよさそうに泳いでいるのを見て「どうして?!」と思ったものです。水泳の授業は嫌で仕方ありませんでした（でもやるしかない・・・）。今になって思えば、少しくらいは「水が好き」といえるくらい、頑張っておけばよかったな・・・と思います。本番へ向けて頑張っている子供たち。どうか、当日は大きな声援を送ってください! 努力している姿がすてきです。

